

アンサンブルコンテスト地区予選における

新型コロナウイルス感染症予防に関する注意事項

1 大会への参加について

- (1) 大会参加に当たっては、参加者（「出場者」「引率者」「打楽器補助員」）本人が感染症にかかっていないことを前提とする。
- (2) 当日、会場において発熱や風邪の症状が現れた場合、会場内での待機や休養は一切できません。

2 会場について

会場は無観客とします。出場者、引率者（2名以内）、記録係（1名以内）、打楽器補助員（3名以内）以外は入館することができません。また記録係1名以外は、出場者、引率者、打楽器補助員の方も客席への入場はできません。

- ※ 「記録係」は客席（指定の場所）において、自校のみ、録音、録画及び写真撮影をすることができます。
- ※ 「打楽器補助員」は「打楽器を含む重奏」と「打楽器重奏」に出場する団体のみ認めます。
- ※ 「引率者」、「記録係」、「打楽器補助員」は別添【体温・体調チェック報告書】の参加者名簿に氏名と内訳を明記してください。
- ※ 楽器の運搬や片付けは、原則として各団体の参加者で行うようにしてください。

3 体調管理に関して

- (1) 以下に該当する場合は出場できません。
 - ① 当日の検温時に37.5℃以上の発熱がある場合。
 - ② 大会2週間前から当日にかけて、発熱を含む体調不良がある場合。
 - ③ 大会2週間前から当日にかけて、感染者又は感染が疑われる方との濃厚接触に該当する場合。
- (2) 参加するすべての出場者、引率者、打楽器補助員は、自宅等で大会の2週間前から検温を行い、別添【体調記録表】を使用して体調の管理を行ってください。【体調記録表】の提出は必要ありませんが、大会終了後1か月は各団体（各自）で保管してください。
- (3) 顧問の先生は、参加するすべての出場者、引率者、記録係、打楽器補助員の大会2週間前からの【体調記録表】を使用した健康観察と、当日朝の検温結果を含んだ体調観察を行い、問題のないことを確認したうえで、別添【体温・体調チェック報告書】を会場受付に提出してください。
また当日会場受付で、入館者は全員非接触型体温計にて検温を行います。37.5℃以上の発熱がある場合は、入場できません。
- (4) 会場受付で人数分のリボンをお渡ししますので、左肩にリボンを付けてください。リボンがない方は入場できません。左肩にリボンを付けた後、会場入り口で全員非接触型体温計にて検温を行います。37.5℃以上の発熱がある場合は、入場できません。打楽器を使用する団体（学校）も、必ず打楽器搬入の前に検温を行い、打楽器搬入口に移動するようにしてください。

4 消毒に関して

出入口、チューニング室、本番前のステージ袖では、必ず手指消毒を行ってください。また、各校（団体）でも消毒液を準備していただき、適宜手指等の消毒に努めてください。

5 マスクに関して

会場内では、演奏時（チューニング室、ステージ上）以外は、必ずマスクを着用してください。本番では、ステージに出てからマスクを外し、演奏終了後はステージ袖に移動してからマスクを着けるようにしてください。

6 演奏者の間隔について

本番中、演奏者の間隔は、1.5m程度取ってください。地区代表になった団体は、県大会でも1.5m程度の間隔を取るようになります。

7 結露水の処理について

打楽器とコントラバス、一部の木管楽器（アルトサクソフーン、テナーサクソフーン、バリトンサクソフーン、バスクラリネット、ファゴット）以外の管楽器奏者の、演奏時（チューニング室、ステージ上）に生じる結露水の処理は、個人や団体（学校）の責任において行ってください。（タオルや吸水シートを準備していただき、演奏中は必ず床に置くようにしてください。）その際に生じるゴミの回収は行いません。個人や団体（学校）でゴミ袋等を準備していただき、必ず持ち帰ってください。

※上記、一部の木管楽器に関しても、必要に応じてタオルや吸水シートをご準備ください。

8 食事について

会館内で食事はできません。